

用土JVCスポーツ少年団 県決勝大会出場!



11月2日、3日の2日間「第10回モルテン旗争奪大会兼第29回関東小学生バレーボール大会埼玉県決勝大会」が久喜市総合体育館第1体育館で行われ、用土JVCスポーツ少年団が女子の部に出場しました。大会には予選会を勝ち上がった32チームが参加し、用土JVCは2回戦で接戦の末敗れてしまいました。キャプテンの和田美優さん(桜沢小6年)は「たくさんの方の応援の中、念願の1勝ができてうれしかったです。ベスト8まであと一歩で負けた悔しさを忘れず、支えてくれる方々にも感謝しながら、次に向けて頑張ります」と話してくれました。

寄居の秋を満喫 町民ハイキング開催!



町体育協会(笠原建徳会長)と町コミュニティ協議会(矢部伸昭会長)共催の「町民ハイキング」が11月2日に行われました。当日は、約100人の参加者が鉢形城歴史館駐車場を出発地とし、鉢形河原～浄福寺～愛宕神社を巡りました。一步一步踏みしめながら登った愛宕山からは鉢形城跡を一望することができました。参加者は「始めは肌寒く感じていましたが、皆さんと談笑しながら歩いて、心地良い汗を流すことができました。また、愛宕山の頂上から眺めた景色はとてとても澄んでいて、すがすがしい気持ちでした」と話してくれました。

寄居スパークルスポーツ少年団 県大会出場!



11月3日、4日、10日に、越谷市立総合体育館で「第44回埼玉県ミニバスケットボール大会」が開催され、寄居スパークルスポーツ少年団が女子の部に出場しました。各地区代表の30チームが大会に参加し、寄居スパークルはブロックを2位で勝ち上がり、総合では6位でした。副キャプテンの峯岸里奈さん(桜沢小6年)は「県大会に出場できて本当にうれしかったです。結果は6位で春の大会よりも順位を上げることができました。みんなで力を合わせ、いい結果が出せて本当によかったです」と話してくれました。

熱戦が繰り広げられました! カローリング親善大会開催

町では、11月10日に総合体育館・アタゴ記念館で「第6回寄居町カローリング親善大会」を開催しました。カローリングは、子どもから高齢者まであらゆる世代で楽しめる、寄居町スポーツ推進委員が中心となり普及しているスポーツです。大会には1チーム3人編成で24チームが参加し、各チーム4試合を行いました。参加者は「初めて参加しましたが、奥の深いスポーツで楽しかったです」、「一投一投、とても緊張しましたが、思いどおりにできたときのうれしさは格別でした」と話してくれました。



設楽啓太さん・設楽悠太さん・小山司さん 伊勢路を力走!

11月3日に「秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会」が名古屋市熱田神宮西門前～伊勢市伊勢神宮内宮宇治橋前の8区間(106.8km)で行われ、設楽啓太さん(赤浜・東洋大4年)、設楽悠太さん(同)、小山司さん(赤浜・帝京大4年)が出場しました。26チームが出場し、設楽啓太さんが第8区、設楽悠太さんが第1区を走った東洋大は第2位で、小山さんが第2区を走った帝京大は第13位でした。設楽啓太さんは「2位に終わり悔しいですが、最後となる箱根駅伝では優勝を狙っていきます。そのためにも自分自身の意識を高めながら、しっかりとチームの底上げをしていきたいです」、設楽悠太さんは「監督やコーチから攻めていけと指示があり、そのとおり走れました。レース中盤に何度か仕掛けましたが、駒澤大学のロングスパートに付いて行けず、自分の弱さを感じたので、箱根駅伝までに修正していきたいです」、小山さんは「エース不在の厳しい大会の中、1区の出遅れを挽回しようと気負い過ぎ、脱水症状によるふらふらな状態でのタスキ渡しになってしまいました。最後の箱根駅伝ではこの雪辱を晴らすため、力を付けたいです」と話してくれました。



◀ 設楽啓太さん



◀ 設楽悠太さん



◀ 小山司さん

大関正蕉さん 全国障害者スポーツ大会陸上競技出場!



10月12日から14日にかけて「スポーツ祭東京2013 第13回全国障害者スポーツ大会」の陸上競技が、味の素スタジアムで開催され、大関正蕉さん(塚田)が埼玉県代表として出場しました。結果は、4×100mリレー第1位、100m走第2位、走幅跳第4位の好成績を収められました。大関さんは「大会に出場して、とてもワクワクしました。メダルを獲ることができ、うれしかったです。来年の大会にも出場したいです」と話してくれました。

本間大介さん 国民体育大会陸上競技出場!



10月4日から8日まで「第68回国民体育大会陸上競技」が調布市の味の素スタジアムで行われ、本間大介さん(塚田・東京農業大学第三高3年)が、少年男子A400mに出場し7位入賞を果たしました。本間さんは「7位に入賞し、微力ながらチーム埼玉に貢献できましたが、レース結果には満足できませんでした。来年以降も国体に出場できるよう頑張り、もっと上位を狙います。夢は叶う!」と話してくれました。